



玉峰  


昔は中を  
舟全

深き  
舟のあり  
と舟の  
名

芳名のとらへん  
集るそ梅柳  
之英

報玉のまをて  
つとむはまは  
梅傍

朝月お静さま  
江のやまに  
梅光

飛鳥の相根  
かよふり  
可興

未のま  
更  
楸亭之英  


